

# 五 放光寺



放光寺は元暦元年（1184）源平合戦で功績をたてた安田義定が一ノ谷の戦いの戦勝を記念して創立しました。明治27年に至って学山で名高い真言宗智山派総本山智積院へ転末して現在に至っております。

寺の境内には四季折々の花が咲きみだれ、一名「花の寺」とも呼ばれています。

恵林寺は臨済宗妙心寺派の名刹。元徳2年（1330）に、甲斐国牧ノ庄の地頭職をつとめていた二階堂出羽守貞藤（道蘊）が、夢窓国師を招き、自邸を禅院とし創建しました。武田信玄の尊崇を受けた美濃の快川和尚の入山で寺勢を高め、永禄7年（1564）には、信玄自ら寺領を寄進し当山を菩提寺と決めました。



## 恵林寺

# 六

\*ひと息\*  
コラム

## 藤木の太鼓乗り

塩山藤木地区の道祖神祭の行事。大太鼓に乗った役者が太鼓や鉦に合わせて歌舞伎の名場面を掛け合い演じて見せることから、「太鼓乗り」といわれます。素朴な中にも豪快さにあふれた民俗芸能です。毎年1月14日に行われています。



## information

◆お問い合わせ先  
甲州市教育委員会 文化財課  
Tel.0553-32-5076



甲州市 HP

# 歴史的 風致散策

# 第十六回



松里の歴史的風致散策  
～古道とセギのささめきに、耳を澄ませる～

松尾神社祭神は建御名方神、事代主神、因象女命です。社記によれば、景行天皇41年の創建と伝えられ、昔から松尾郷の鎮守として信仰されてきました。恵林寺の鎮守でもあり、神社裏の土手は恵林寺から続いているものと伝えられており、その土塁址の遺構が一部残されています。あわせて6柱をまわすので「六所明神」とも呼ばれています。

## 跡 十組屋敷



徳美藩の領地支配の拠点となった藩庁（陣屋）跡です。徳美藩は江戸時代初期の寛永10年（1633）に、現在の甲州市塩山（一部山梨市）につくられた小藩です。藩主はかつての武田家の家臣だった伊丹氏。領地（知行地）が10組19カ村から成っていたことから「十組（とくみ）」といい、これが藩名の由来となりました。

## 七



人々が生活し農業を興せるようになって理由の一つに「七井」と呼ばれる水路があり、特に笛吹川水系の「藤木セキ」、「小井セキ」、「井尻セキ」は、計画的にすたれ状の水路網を形成しています。

秩父往還は、秩父街道または雁坂口ともいい、日本武尊の東征伝説が残る古道でもあります。古くから甲斐と武蔵の往来に利用されていたといわれ、山梨市小原西で青梅街道から分かれ、塩山の西を笛吹川の渓流沿いに三富に遡り、雁坂峠を越えて武州秩父郡の大滝村に入り、秩父市の大宮に達するものです。



## 秩父往還

# 松尾神社

